科目名	母性看護学実習Ⅱ Maternity Nursing Practice Ⅱ	担当教員 (研究室番号)	大平 肇子 (104) 渡邊 聡子 (102) 岩田 朋美 (101) 杉山 泰子 (103)	教員への連絡方法 (メールアドレス)	

履修年次	2年次 前期	科目区分	専門科目	選択区分	コース必修	単位数(時間)	7(210)	授業形態	実習	科目等履修生	否
										遠隔授業	否

科目目的	クリティカルケアを必要とする周産期の母子とその家族への高度看護実践と事例検討をとおして、専門看護師として高度なアセスメント能力と実践能力を養い、ケアの質の評価と向上を自律的に目指せる能力を養う。医療ケアチームにおける看護職者の役割を理解し、多職種と連携・協働できる能力を養うとともに、ケア場面での倫理的問題を判断し、その解決に向けて関係者間の調整ができる能力を養う。また、看護実践の創造、変革、改善のための研究課題を見出し、解決に向けた研究的なアプローチ能力を養う。	
ディプロマ・ポリシー(DP)	主要なDP	７．看護学の特定分野における卓越した看護実践能力を修得している。
	関連するDP	１．多様化・複雑化・高度化する看護ニーズを的確に捉え、看護の特定領域における高度な看護実践能力や総合的な調整能力を身につけている。
到達目標	１．高度なクリティカルケアを必要とする周産期の母子とその家族への看護実践をとおして、高度なアセスメント能力と卓越した実践能力を養うことができる。 ２．実習施設・看護部の方針を踏まえたうえで、病棟や外来の看護ケアの質を高めるための課題を明確にし、専門領域における看護職者に対し、教育活動を自律的に実践する能力を養うことができる。 ３．周産期の母子および家族、看護職者、看護学生が抱える顕在的・潜在的問題を的確にとらえ、理論的分析を加えたコンサルテーションを主体的に実践する能力を養うことができる。 ４．リーダー的役割を果たしながら、他の専門職者との共同ケア、ケアコーディネーションを行い、チームケアが適切に行えるためのシステムを整備し、多職種との連携および協力体制を調整していく能力を養うことができる。 ５．周産期の母子とその家族のケアにおける当事者や看護職者の抱える倫理的問題・葛藤について、倫理原則を用いて分析し主体的に倫理的意思決定を行い、適切に支援する能力を養うことができる。 ６．高度なクリティカルケアを必要とする周産期の母子とその家族への看護実践を通して、研究的視点をもって、より質の高い看護を実践していくための業務管理上の課題を見出すことができる。	

成績評価方法(基準)	実習内容、実習記録、出席状況、カンファレンスへの参加状況等を総合的に評価する。
教科書	必要時、紹介します。
参考書等	必要時、紹介します。
受講者へのメッセージ	常に研究的視点をもち、臨地での体験で得られた知見を発展させることを通じ、母性看護専門看護師に求められる高度な実践能力の修得を目指しましょう。主体的・積極的な取り組みを期待します。
備考	

学　習　内　容

１　高度なクリティカルケアを必要とする周産期の母子とその家族への高度看護実践を行い自律的に活動する能力を養う
　・母性看護専門看護師のスーパービジョンを受けながら、クリティカルケアを必要とするハイリスク事例に対する高度看護実践と事例検討を行う。
　・ハイリスク事例の受け持ちにあたっては、医師（産婦人科医、小児科医）のクリニカルラウンド、事例検討、カンファレンスに参画し、医師のアドバイス（包括指示による一部医行為を含む）を得ながら、病態をアセスメントし、医療的介入の必要性を判断する。
　・心理・社会的に複雑な問題を抱える妊産褥婦に対し、妊娠・分娩・産褥経過の正常性を維持するための予防的ケアと心理・社会的側面に対する高度な看護実践のスキルを獲得する。
　・フィジカルアセスメント、モニタリング、画像診断、救命救急技術、新生児蘇生技術など、クリティカルケアのための診断技術・援助技術を適切に活用し自律的に実践する能力を高める。

２　専門領域におけるケア提供者への教育活動を実践する能力を養う
　・実習病院・看護部の方針を踏まえたうえで、病棟や外来の看護ケアの質を高めるための課題を明確にし、周産期の母子とその家族へのケア提供者に対する教育活動を自律的に実践する能力を強化する。

３　専門領域におけるケア提供者への相談活動を実践する能力を養う
　・クリティカルな状況にある周産期の母子とその家族へのケア提供者が抱える顕在的・潜在的問題を把握し、理論的分析に基づきコンサルテーションを自律的に実践する能力を強化する。

４　医療ケアチームにおける連携・協働・調整能力を養う
　・クリティカルケアを円滑に行うために必要な医療ケアチームにおける看護職者の役割を理解し、他部門・他施設、地域と連携し、調整機能を果たす。
　・クリティカルな状況にある周産期の母子とその家族に提供される医療ケアの質確保、ケアシステム改善の必要性を判断し、自律的にコーディネーターとしての役割を果たす。

５　ケア場面における倫理的問題を判断し、その解決に向けて調整・実践できる能力を養う
　・周産期の母子とその家族のケアにおける当事者やケア提供者の抱える倫理的な問題・葛藤を倫理原則を用いて分析し、主体的に倫理的意思決定を行い、適切に倫理調整の機能を果たす。

６　研究的なアプローチ能力を養う
　・周産期の母子とその家族への看護実践を通して、研究的視点をもって、より質の高い看護を実践していくための業務管理上の課題を見出し、クリティカルな状況にある周産期の母子とその家族に有効な看護方法を探究する。